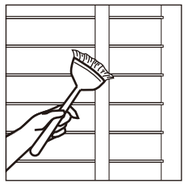
お手入れ方法

日頃のお手入れは、ブラシを使い、シェードのほこりをはらってください



免責事項

外観変化、特殊環境における状態変化について、下記項目を予めご了承ください。

- 製作上起こりうる布生地パターンのずれや室内光による色あせなどにより、外観が変化する可能性がありますが、製品の機能を損なうものではありません。
- 紫外線の影響で経年変化することがあります。また、設置場所の光量などにより色差が出たり、褪色が起きることがあります。
- 同色の商品はできるだけまとめてご発注ください。発注を分けると、微妙な色差やパターン差が生じることがあります。
- 色差の許容範囲は工場の判断によります。
- 気候等環境によって布生地が伸縮及び変形する可能性があります。
- 布地を丸めた状態のまま長時間操作しないでいると、布地の縁が曲がる恐れがあります。

保証について

製品保証

この度は弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合は無償で修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より３年間

注意：シェード（生地）、消耗部品（昇降コードなどのコード類）については、その保証期間を１年とさせていただきます。
３年保証に伴い発生する送料、取り外し、取り付け費用はお客様負担となります。

次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
1. 誤った使用法、誤った取り付け法、または弊社が推奨しない修理や改造による故障及び損傷。
2. 火災、地震、水害、落雷など天災地変による故障及び損傷。
3. 特殊環境（極度の湿気、薬品、公害）による故障及び損傷。

お客様サービス窓口：0120-051-507（お問い合わせ時間：平日9時～18時）

ノーマンジャパン株式会社
〒151‐0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE 代々木３階
ホームページアドレス：www.norman.co.jp

ご質問やご不明点がございましたら、弊社のホームページから詳しい情報をご確認いただけます。

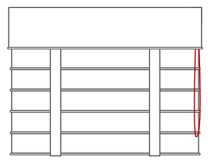
BVS-02　2018 02

NORMAN®

ノーマンベルビュー エアリーシェード仕様書

材質： ポリエステル、リネン
（シェードシリーズによって素材が異なります。）
シェード色：13色

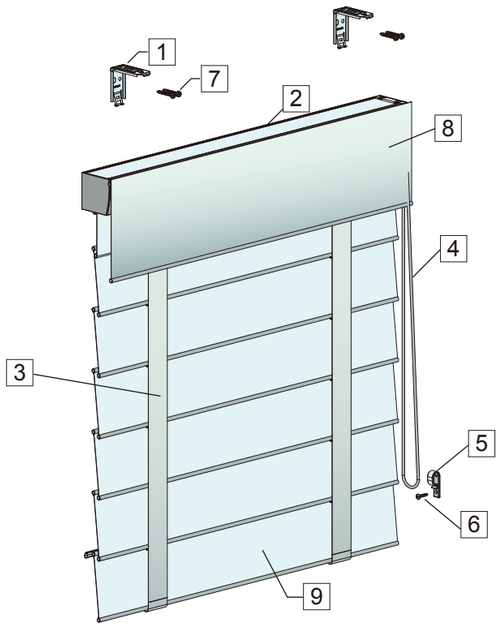
※採光タイプのみ

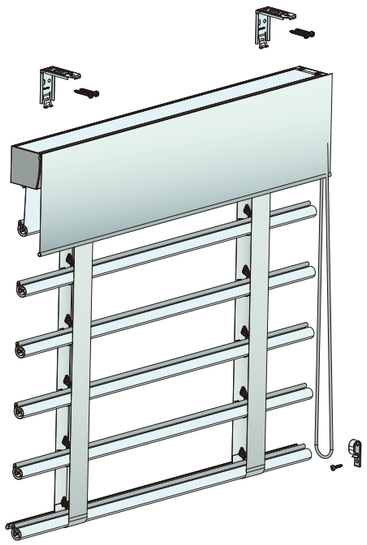


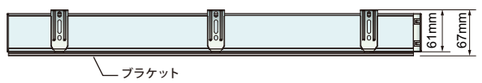
ループコードタッチ

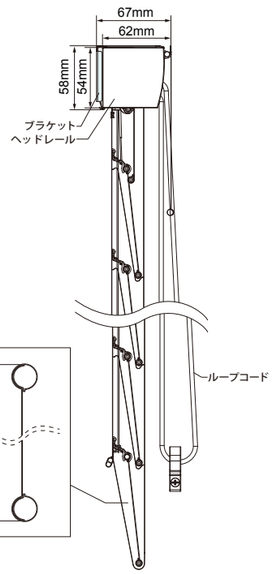
構造部品名	01
仕様と構造	02
配色表	03
取り付けタイプと条件	07
取り付けタイプ・採寸方法	11
採寸方法	12
取り付け方法	14
操作方法	17
操作方法・サイズ定義と公差	18
お手入れ方法・免責事項 保証について	19

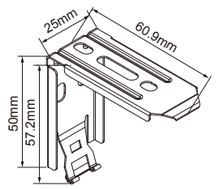
構造部品名

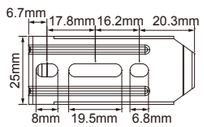


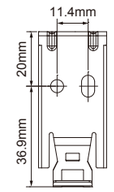


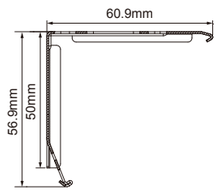








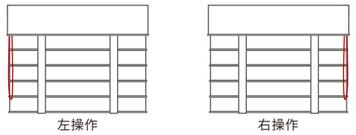
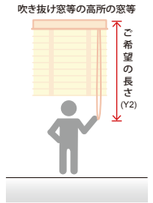




部品名	材質	備考
(1) ブラケット	メタル	1色
(2) ヘッドレール	アルミニウム	1色
(3) ラダーテープ	ポリエステル	7色
(4) ループコード	ポリエステル	5色
(5) コードフック	樹脂成形品	透明
(6) コードフックネジ	メタル	-
(7) ブラケット取り付けネジ	メタル	-
(8) バランス	ポリエステル、リネン(※)	バランス幅160mm
(9) シェード	ポリエステル、リネン(※)	シェード幅102mm

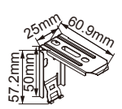
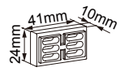
※ シェードシリーズによって使用比率が異なります

操作メカ

操作メカ	ループコードタッチ
製作可能寸法	製品幅654mm ～ 2400mm 、製品高さ460mm ～ 2400mm、 製作最大面積5.2㎡
操作位置	(標準仕様) 
操作コード	製品高さ(Y1)→操作コードの標準長さ  ～ 650mm → 406mm 651mm ～ 914mm → 610mm 915mm ～ 1218mm → 914mm 1219mm～1523mm → 1219mm 1524mm～2133mm → 1524mm 2134mm～ → 2134mm 設置箇所が高所の場合など、ご希望があれば長さをご指定下さい (Y2) 。 操作コードの長さは、10ミリ単位で指定することができます。 標準の長さが、目安の長さとなります。 コードが短すぎると操作に支障をきたす場合がございます。ご注意ください。 ※1 (Y2) ＝ヘッドレール上辺からコードフックまで。 ※2 寸法下限：153mm / 公差：-13mm ～ 0mm

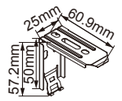
付属部品の数量

【 カーテンレール付け以外の場合 】

製品幅 (mm)	ブラケット 	コードフック	壁面付け以外の場合	壁面付けの場合		
			ブラケット取り付けネジ＆コードフックネジ	ブラケットスペーサー 	ブラケットスペーサー用ネジ	コードフックネジ
~914mm	2	1	5	2	4	1
915mm~1600mm	3	1	7	3	6	1
1601mm~2286mm	4	1	9	4	8	1
2287mm~	5	1	11	5	10	1

※ ブラケットスペーサーの数量は、1個の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
※ 通常は19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー１個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジが付属します。
※ 仮止め用両面テープ数＝ブラケット数*1+ブラケットスペーサー数*1。

【 カーテンレール付けの場合 】

製品幅 (mm)	ブラケット 	コードフック	コードフックネジ	M4*11.5mm ボルト	14*17mm H型金具
~914mm	2	1	1	2	2
915mm~1600mm	3	1	1	3	3
1601mm~2286mm	4	1	1	4	4
2287mm~	5	1	1	5	5

※ ネジは木部用です。木部以外の下地 (石膏ボードなど) には使用できません。

ラダーテープ、昇降コードの数

製品幅 (mm)	~1270mm	1271mm~2032mm	2033mm~
ラダーテープ数	2	3	4
製品幅 (mm)	~1270mm	1271mm~2032mm	2033mm~
昇降コード数	2	3	4

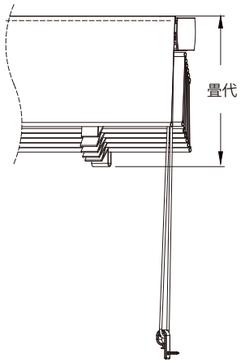
製品重量の目安

製　品　名	算　出　式
シェード本体/m² (kg)	製品幅(m)*製品高さ(m)*1.761*ご選択のシェード（kgs/m²）
ヘッドレール部(kg)	製品幅(m)*2.1
バー(kg)	製品幅(m)*製品高さ(m)*0.48
製品全体(kg)	製品幅(m)*製品高さ(m)*1.761*ご選択のシェード（kgs/m²） +製品幅(m)*2.1+製品幅(m)*製品高さ(m)*0.48

※　ご選択のシェードの重さは下表をご参照ください。

No	シリーズ	カラーコード	成 分	重さ／m²
1	リネン	F0927	ポリエステル85.4% リネン　14.6%	0.115kgs/m² (115g/m²)
		F0892		
		F0893		
		F0891		
		F0894		
		F0895		
		F0896		
2	ディムアウト	F0928	ポリエステル100%	0.251kgs/m² (251g/m²)
		F0874		
3		F0870	ポリエステル100%	0.257kgs/m² (257g/m²)
		F0871		
		F0872		
		F0873		

製品畳代・シェード数算出式



畳代=
[(製品高さmm-102.5)/90(小数点以下切り捨て)-1]*8+220

※　素材の特性上、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

配色表

お選びのシェードカラーに合わせた最適な配色で商品全体をコーディネートいたします。

シリーズ	カラーコード	色名	ラダーテープ	昇降コード	ループコード	ヘッドレール、ヘッドキャップ、ブラケット
リネン	F0927	アーモンドミルク	ホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト
	F0892	サンド	ホワイト	ホワイト	ホワイト	
	F0893	ナチュラル	エクリュ	アラバスタ	アラバスタ	
	F0891	フラックス	エクリュ	アラバスタ	アラバスタ	
	F0894	カーキ	ダスティーグレー	シルバー	シルバー	
	F0895	デューン	ライトココア	バーク	カーキ	
	F0896	グラファイト	グレーベージュ	カーキ	カーキ	
ディムアウト	F0928	ポースリン	ホワイト	ホワイト	ホワイト	
	F0874	バーラップ	アイボリー	アラバスタ	アラバスタ	
	F0870	ホイート	ホワイト	ホワイト	ホワイト	
	F0871	プラチナ	ダスティーグレー	シルバー	シルバー	
	F0872	シシリアン・アンバー	グレーベージュ	カーキ	カーキ	
	F0873	サーブルブラウン	ダークシェンナ	バーク	ダークウォルナット	

ラダーテープ

ラダーテープは、ご指定なければ標準配色でコーディネートいたします。

標準配色

リネン

シェード:F0927アーモンドミルク
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0892サンド
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0893ナチュラル
ラダーテープ:T403エクリュ

シェード:F0891フラックス
ラダーテープ:T403エクリュ

シェード:F0894カーキ
ラダーテープ:5124ダスティーグレー

シェード:F0895デューン
ラダーテープ:T402ライトココア

シェード:F0896グラファイト
ラダーテープ:T169グレーベージュ

ディムアウト

シェード:F0928ポースリン
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0874/バーラップ
ラダーテープ:T002アイボリー

シェード:F0870ホイート
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0871プラチナ
ラダーテープ:5124ダスティーグレー

シェード:F0872シシリアン・アンバー
ラダーテープ:T169グレーベージュ

シェード:F0873サーブルブラウン
ラダーテープ:5434ダークシェンナ

※　写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。
現物または弊社提供のサンプルなどでご確認ください。

指定配色

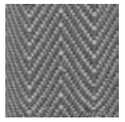
ラダーテープは7色からお選びいただきます。

7色

T001
ホワイト

T002
アイボリー

T403
エクリュ


5124
ダスティーグレー

T402
ライトココア

T169
グレーベージュ

5434
ダークシェンナ

※　昇降コード、ループコードの色はご選択のラダーテープカラーに準じます。

ラダーテープの色	昇降コード	ループコード
T001 ホワイト	ホワイト	ホワイト
T002 アイボリー	アラバスタ	アラバスタ
T403 エクリュ	アラバスタ	アラバスタ
5124 ダスティーグレー	シルバー	シルバー
T402 ライトココア	バーク	カーキ
T169 グレーベージュ	カーキ	カーキ
5434 ダークシェンナ	バーク	ダークウォルナット

リネン

シェード:F0927アーモンドミルク
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0892サンド
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0893ナチュラル
ラダーテープ:T403エクリュ

シェード:F0891フラックス
ラダーテープ:T403エクリュ

シェード:F0894カーキ
ラダーテープ:5124ダスティーグレー

シェード:F0895デューン
ラダーテープ:T402ライトココア

シェード:F0896グラファイト
ラダーテープ:T169グレーベージュ

ディムアウト

シェード:F0928ポースリン
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0874バーラップ
ラダーテープ:T002アイボリー

シェード:F0870ホイート
ラダーテープ:T001ホワイト

シェード:F0871プラチナ
ラダーテープ:5124ダスティーグレー

シェード:F0872シシリアン・アンバー
ラダーテープ:T169グレーベージュ

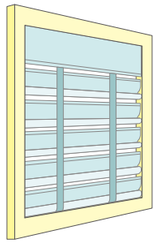
シェード:F0873サーブルブラウン
ラダーテープ:5434ダークシェンナ

※ 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物または弊社提供のサンプルなどでご確認ください。

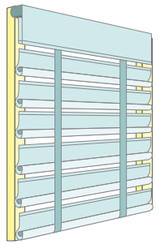
配色表

取り付けタイプ

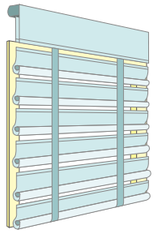
窓枠天井付け(鴨居付け)
(窓枠の内側に取り付ける場合)



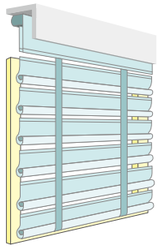
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



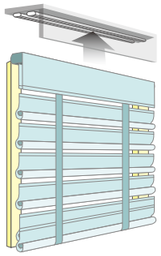
壁面付け
(窓枠上の壁面に取り付ける場合)



カーテンボックス付け
(カーテンボックス内天井部分に取り付ける場合)



カーテンレール付け
(窓枠内またはカーテンボックス内のカーテンレールに取り付ける場合)

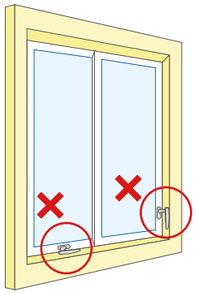


取り付け条件

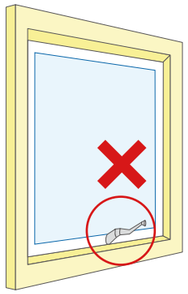
1. 窓枠天井付け

条件1-1 動作に干渉するおそれのある障害物がないこと。

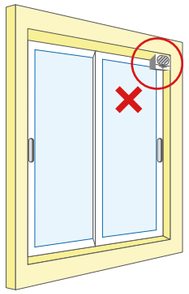
ハンドル



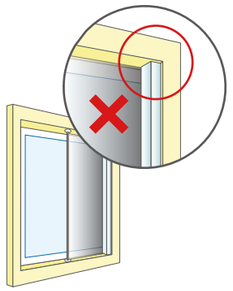
クランク



セキュリティーセンサー

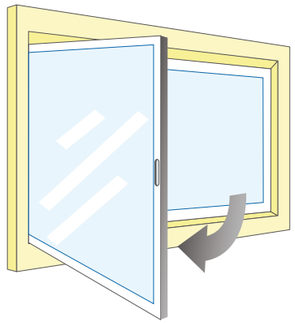


網戸の収納仕組

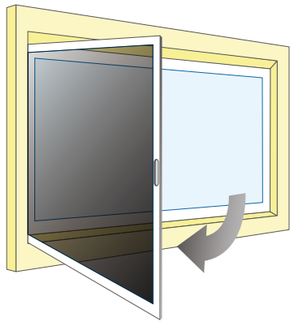


条件1-2 内開きの窓・網戸がないこと。

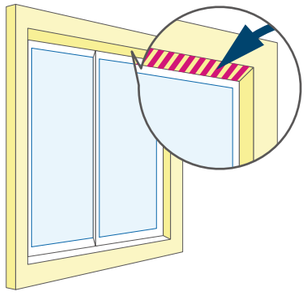
内開きの窓



内開きの網戸

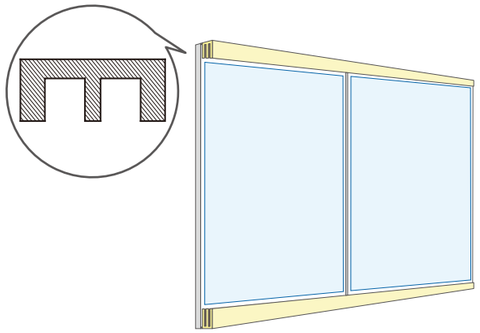


条件1-3 下地が木材であること。



ネジを打ち込むため、取り付け箇所(窓枠内側の下地)の材質が木材である必要があります。(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)。

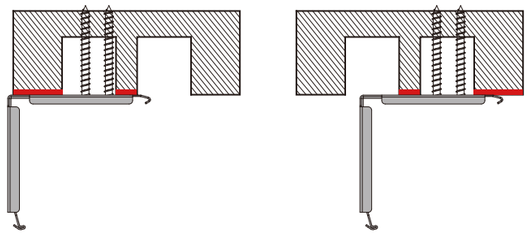
鴨居付け

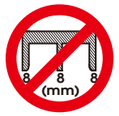


和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか?

■ 原則として、取り付けに問題ございません。鴨居の寸法を確認し、シェードのブラケットが 2点の平面 に支えられることをご確認ください。
なお、ヘッドレールの前側と鴨居の前側が揃わないことがあります。
あらかじめご了承ください。

取り付けの断面図 (おすすめの取り付け方法)

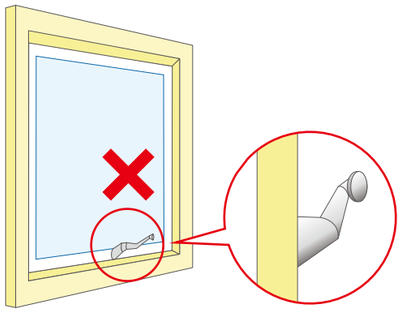




薄型鴨居の場合、左図の木の幅が 8mm 以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

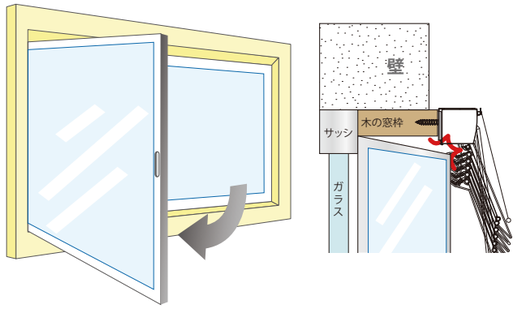
2. 正面付け

条件2-1 窓枠外に突出する障害物がないこと。



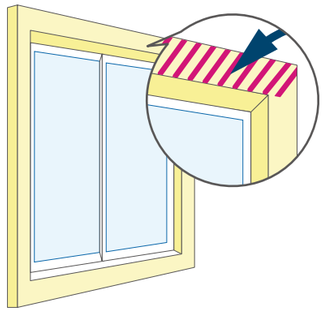
窓枠外に突出した取手などがあると、シェードの昇降を妨げます。
窓枠から突出する障害物がないことをご確認ください。

条件2-2 内開きの窓・網戸の影響を確認済みであること。



内側に開く窓や網戸があると、図のように扉の開閉に支障をきたすことがあります。設置位置や畳代をご確認ください。

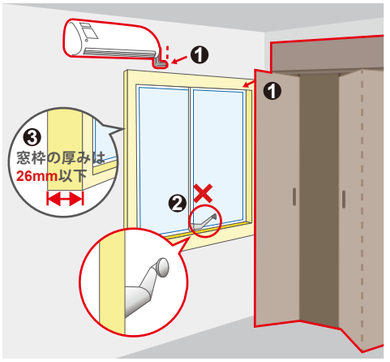
条件2-3 取り付け箇所(下地)の材質が木材であること。



ネジを打ち込むため、取り付け箇所(下地)の材質が木材である必要があります
(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)。

3. 壁面付け

条件3-1 窓枠周辺に障害物がないこと。

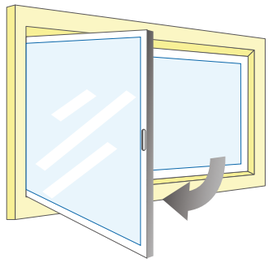


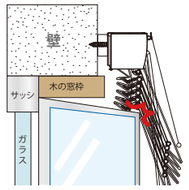
❶ 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

❷ 窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。
突出するものがあるとシェードの昇降操作に支障をきたすことがあります。

❸ 窓枠の厚み（壁面からの突出）が 26mm 以下であること。

条件3-2 内開きの窓・網戸の影響を確認済みであること。



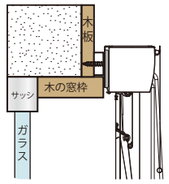


■ 内開き仕様の窓・網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、畳代計算・採寸・取り付けなど十分ご注意ください。

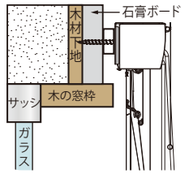
条件3-3 取り付け箇所の下地が取り付けに有効な材質であること。

■ 下図下地素材の場合は、商品同梱のネジで取り付けが可能です。

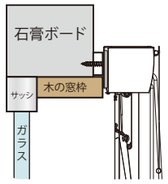
■ 下図下地素材の場合は、弊社ネジでの取り付けができません。
専門業者による取り付けをおすすめいたします。



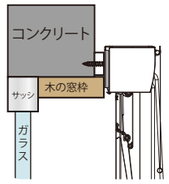
木材、ベニヤである事



石膏ボードの下に木材の下地があること（※ネジが下地まで届かない場合があります。必ず下地までの距離をご確認下さい）



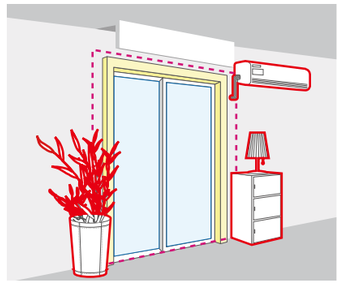
木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合（※）
→ 石膏ボード専用アンカーなどをご利用いただく必要があります。
※メーカー非推奨



木材の下地がなく、コンクリートのみの場合
→ コンクリート専用ネジのご利用と、施工方法をご確認ください。
専門業者による取り付けをおすすめいたします。

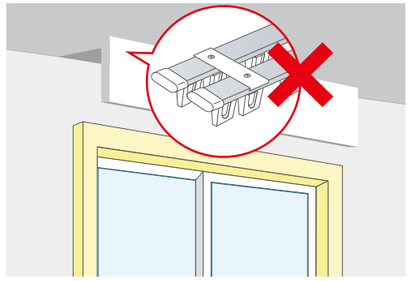
4. カーテンボックス付け

条件4-1 窓枠周辺に障害物がないこと。



窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。

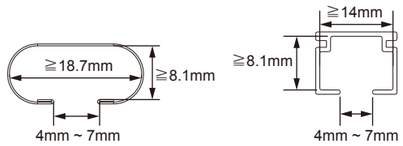
条件4-2 カーテンレールが付いていないこと。



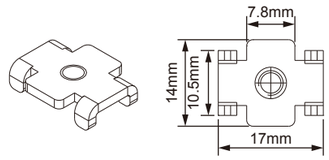
カーテンレールが設置してある場合は、取り外しが困難な場合もあるため、おすすめしません。

5. カーテンレール付け

条件5-1 設置カーテンレールの条件

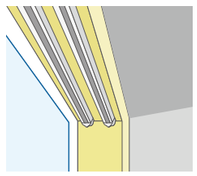
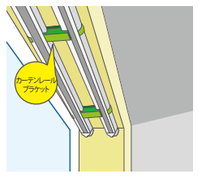
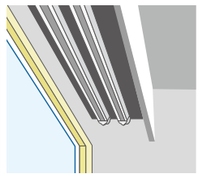
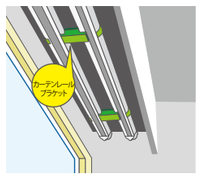
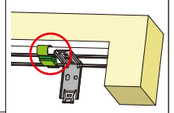
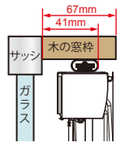
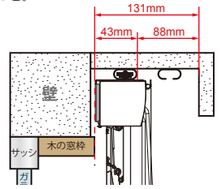


C型または角型の金属性カーテンレールのみ設置可能です。カーテンレール制限寸法は上図参照。

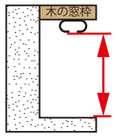


取り付けの際は商品付属のH型金具（上図）を必ずご使用ください。

条件5-2 取り付けタイプの条件

窓枠内のカーテンレールに取り付け		カーテンボックス内のカーテンレールに取り付け		
カーテンレールブラケット無し仕様	カーテンレールブラケット付き仕様	カーテンレールブラケット無し仕様	カーテンレールブラケット付き仕様	
				
1. 取り付けレールの前面から壁面まで41mm以上あること。 2. 窓枠の奥行が67mm以上あること。 		1. 取り付けレールの前面から壁面まで43mm以上あると。 2. 取り付けレールの前面からカーテンボックス前側まで88mm以上あること。 3. 取り付けレールの前面からバランス前面まで24mm以上を超えないこと。 		**備考** シェード本体のブラケットとカーテンレールブラケットは、図のように、ずらして設置してください。

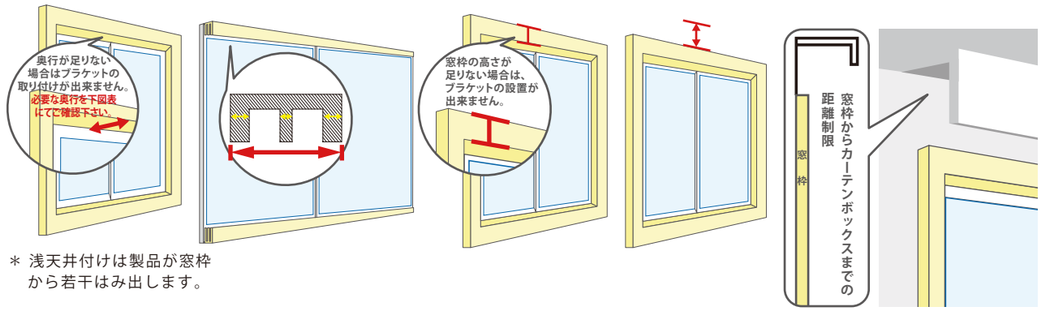
【 採寸方法 】



（幅） 窓枠天井付けまたは
カーテンボックス付けの採寸方法（P.12）をご参照ください。
（高さ） 左図のように取り付け位置から採寸します。

取り付け条件・必要寸法一覧

窓枠天井付け　窓枠天井付け 障子枠（鴨居）　窓枠正面付け　壁面付け　カーテンボックス付け



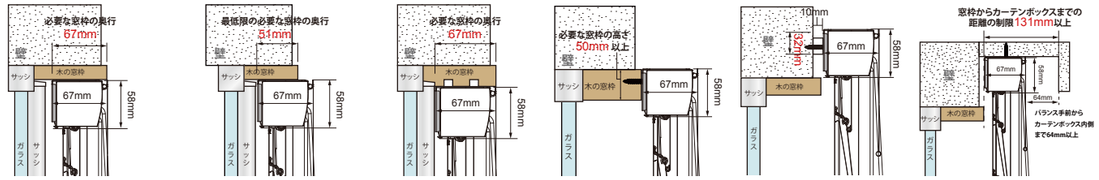
＊ 浅天井付けは製品が窓枠から若干はみ出します。

【 ループコードタッチ 】

窓枠天井付け
ヘッドレール手前側と窓枠手前側を水平にします。窓枠の奥行は67mmあればブラケットの取り付けが可能です。

浅天井付け
ヘッドレール手前側が窓枠から若干はみ出します。窓枠の奥行51mmあれば、ブラケットの取り付けが可能です。

鴨居付け　**正面付け**　**壁面付け**　**カーテンボックス付け**



取り付けタイプ	取り付け時に必要な制限	寸法
窓枠天井付け（鴨居付け）/ カーテンレール付け（窓枠天井付け）	窓枠奥行	67 mm
浅天井付け	窓枠奥行	51 mm
正面付け	窓枠の高さ	50 mm
壁面付け	天井から窓枠までの寸法 (取り付け予定箇所の寸法)	32 mm
カーテンボックス付け/ カーテンレール付け（カーテンボックス付け）	カーテンボックス奥行	131 mm

採寸方法

【 採寸の準備 】

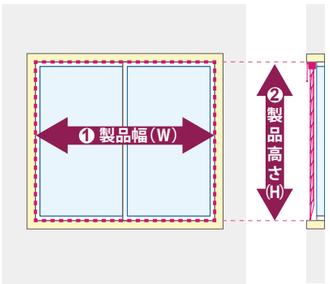
サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

※ 新築等図面上のサイズでご注文いただきますと、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。
必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文下さい。

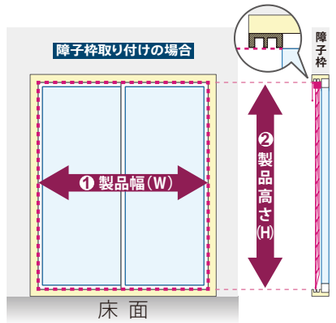
【 採寸時のご注意 】

窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。
取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

窓枠天井付け（窓枠/障子枠の内側に取り付け）



製品寸法は幅、高さとも窓枠の内側寸法を両端から正確に測ってください。



製品幅は窓枠の内側寸法を測ってください。
製品高さは窓枠の内側から床まで測ってください。

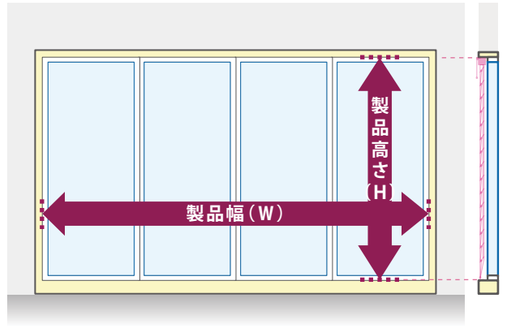
※ 窓枠の歪みにより、
窓枠上部幅と下部幅に数ミリの誤差が生じ、
製品が設置出来ない場合がございます。
窓枠上部、下部の2か所の幅を採寸していただき、
小さい方のサイズにてご注文ください。

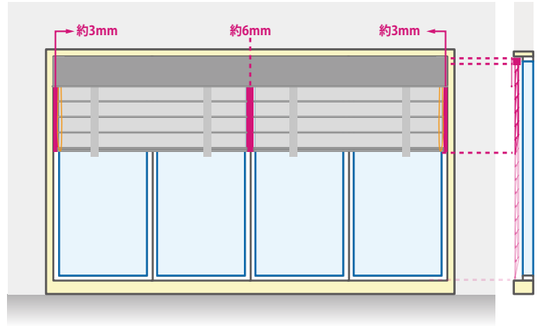
採寸は、幅、高さとも窓枠の内側寸法実寸を正確に測ってください。
窓枠内に収まるように工場にて1台につき6mm引いて製作します。（幅のみ）
取り付け時の窓枠とシェードの隙間は片側約3mmとなります。
間仕切りとしてご利用の場合（天井付け）、天井の強度が足りず設置できない場合がございます。
必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

大きな窓に設置する場合は台数を分け、並べて設置してください。

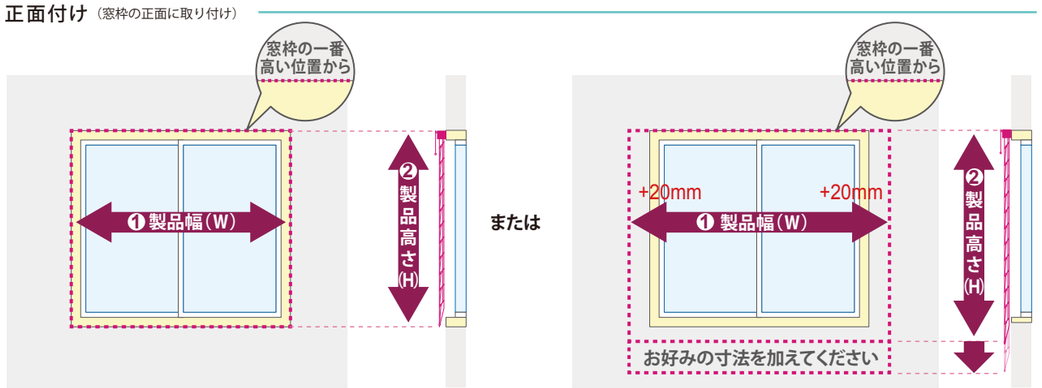
採寸方法は1台の時と同様。設置個所の窓枠内側の寸法を測ってください。
そこから幅を台数分で割ったサイズがご注文サイズとなります。
台数を分けて設置するときは、窓サッシを境にすると見栄えが良くなります。

商品に合わせ、工場にて1台あたり両側3mmずつ引いて製作します。（幅のみ）
取り付け時の隙間はノーマンベルビューエアリーシェードの場合、片側（窓枠と生地）約3mm、2台の間（生地と生地）は約6mmとなります。





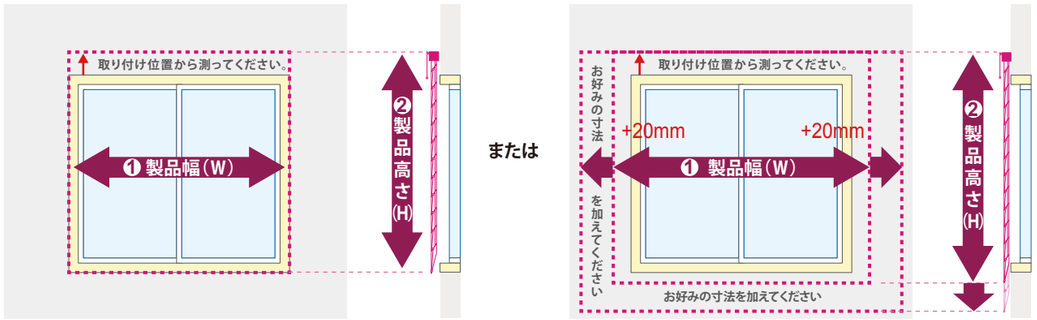
正面付け（窓枠の正面に取り付け）



製品幅は窓枠の外側寸法を測ってください。
窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる方は、窓枠外側寸法に、左右各 20mm 程度多めに加えることをおすすめします。
ただし、周りに障害物がないことを必ずご確認ください。
製品高さは窓枠の外側寸法を測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。

※ 大きな窓に複数台並べて設置する場合は、2台の間に6mmの隙間を開けて設置して下さい。

壁面付け（窓枠上の壁面に取り付け）



製品幅は窓枠の外側寸法を測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。
窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる方は、窓枠外側寸法に、左右各 20mm 程度多めに加えることをおすすめします。
ただし、周りに障害物がないことを必ず確認してください。
製品高さは取り付け位置から窓枠の外側寸法まで測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。

※ 大きな窓に複数台並べて設置する場合は、2台の間に6mmの隙間を開けて設置して下さい。

壁面採寸、および取り付け時の注意

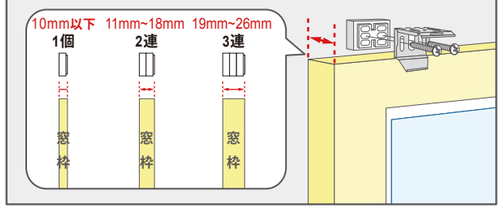
■ ブラケットスペーサー使用数

壁面に取り付ける場合は、下記のことを確認してください。

壁面と窓枠に段差があるかどうかを確認してください。
壁面と窓枠に段差がある場合は、それを解消するために、
ブラケットスペーサーの使用が必要になります。
オプションで必要数をご選択ください。

ブラケットスペーサーの組み合わせは最大3連までです。
それ以上必要な場合は、壁面付け以外の取り付け方法をお選びください。

- 壁面と窓枠の段差が10mm以下 → 1個使用します。
- 壁面と窓枠の段差が11mm~18mm → 2連で使用します。
- 壁面と窓枠の段差が19mm~26mm → 3連で使用します。



■ 内開きの窓・網戸がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合のご注文サイズについて。

内開きの窓・網戸 (図1) がある場合や、窓枠上に製品を収めたい場合 (図2) は、下図・下計算式を参考に注文ください。

図1

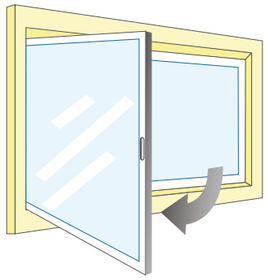
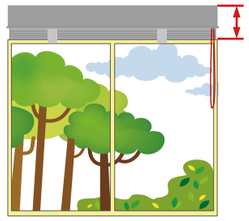
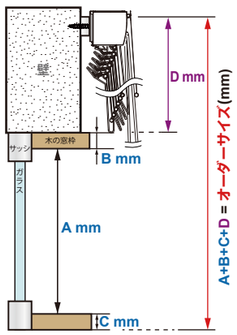


図2



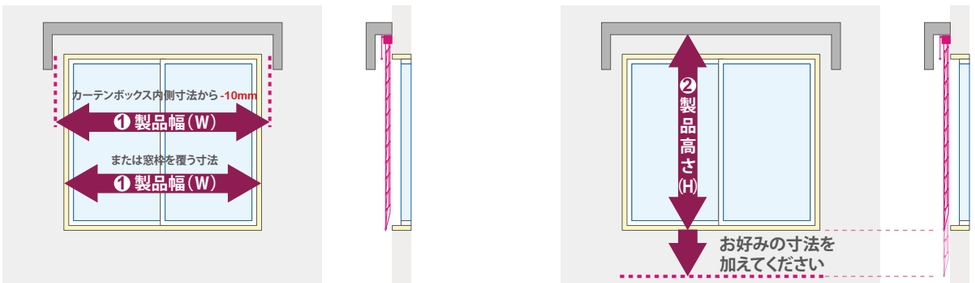


ご注文の高さ＝A+B+C+D
D=[(A+B+C+Aの製品畳代-102.5)/90(小数点以下切り捨て)-1]*8+220

例　A=1000mm ,B=20mm ,C=20mm
　　Aの製品畳代の計算式はP4をご参照。

　　A畳代
　　[(1000-102.5)/90-1]*8+220=284mm
　　D=[(1000+20+20+284-102.5)/90-1]*8+220=316mm
　　ご注文の高さ=1000+20+20+316=1356mm

カーテンボックス付け （カーテンボックス内天井に取り付け）

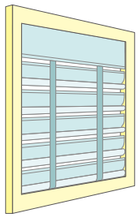


製品幅はカーテンボックス内側寸法を測り、そこから10mm程度引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
製品高さは取り付け位置(カーテンボックス天井面)から窓枠の外側寸法を測ってください。お好みの寸法を加えることもできます。

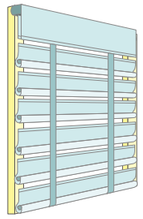
※ 大きな窓に複数台並べて設置する場合は、2台の間に6mmの隙間を開けて設置して下さい。

取り付け方法

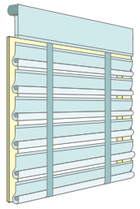
窓枠天井付け（鴨居付け）
(窓枠の内側に取り付ける場合)



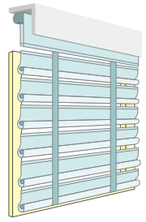
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



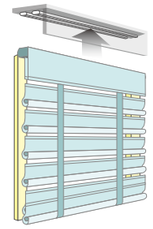
壁面付け
(窓枠の上壁面に取り付ける場合)



カーテンボックス付け
（カーテンボックス内天井部分に取り付ける場合）



カーテンレール付け
（窓枠内またはカーテンボックス内のカーテンレールに取り付ける場合）



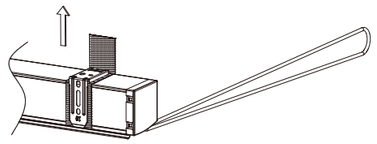
取り付け前の作業

（1）製品確認
内容物に疵がつかないよう開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。
・スクリーン本体　・付属品セット　・取り扱い説明書　・保証書
同梱の取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

（2）本体の取り出し

製品本体を覆う緩衝材を取り外し、帯紙を外します。

（3）ブラケット取り外し
図のように、スクリーンの正面を下に、製品を水平に置きます。片手でヘッドレールを軽く押しながらもう片方の手でヘッドレールとスクリーンの間に挟まれているシートを引き出し、ブラケットを外します。



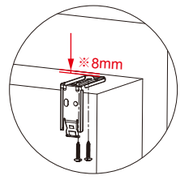
取付け手順は次のステップ①からステップ③の順に取り付けてください。

窓枠内付け、カーテンボックス付けの場合

▶ ※製品幅が1067mm~1600mmのとき、次頁「ブラケット設置位置の注意」も併せてご参照ください。

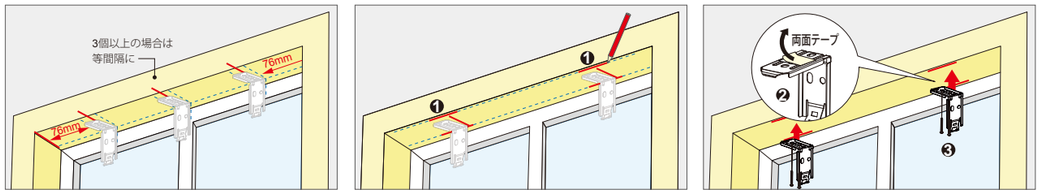
Step1　ブラケットを取り付けます

■ 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約 76mm 内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、付属のネジでしっかりと固定してください。(下図参照)
■ ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。※
■ ブラケットの設置面前端から窓枠前面まで（※右図参照）8mm以上の距離を空けてください。

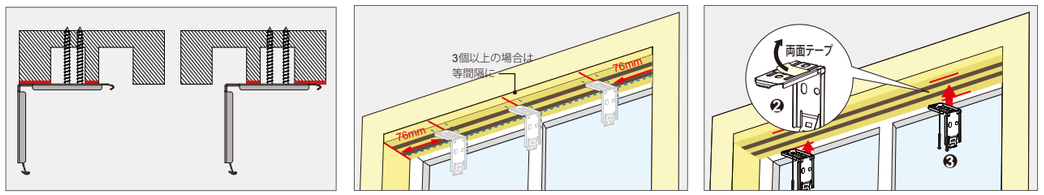


※ シェードを窓枠内に収めるために必要な距離
（浅天井付けの場合は除く）

【窓枠天井付け】（窓枠の内側に取り付け）

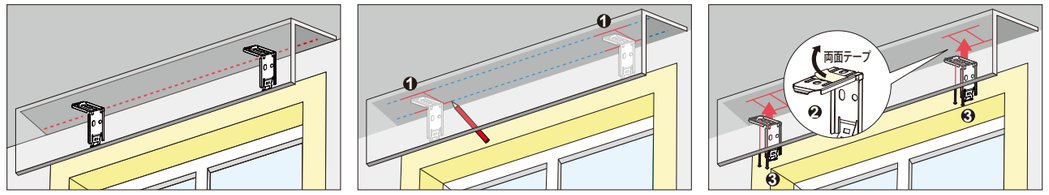


【窓枠天井付け】（障子枠に取り付ける場合）



1. ブラケットが平面位置（左図参照）に接することを確認し、ネジを凹み箇所に差し込み固定します。
2. ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。
※ 製品幅が1067mm~1600mmのとき、次頁「ブラケット設置位置の注意」をご参照ください。
3. 鴨居への取り付けは基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

【カーテンボックス付け】（カーテンボックス内天井に取り付け）

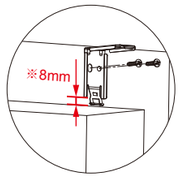


窓枠外付けの場合

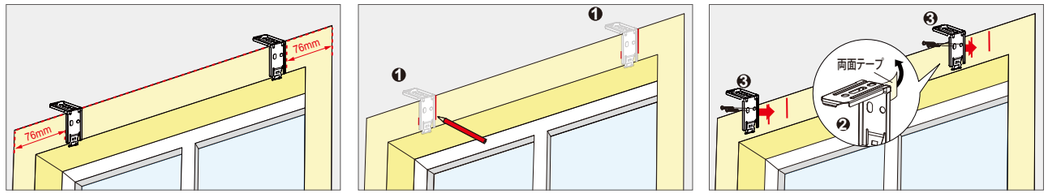
※製品幅が1067mm~1600mmのとき、次頁「ブラケット設置位置の注意」も併せてご参照ください。

Step1 ブラケットの取り付け

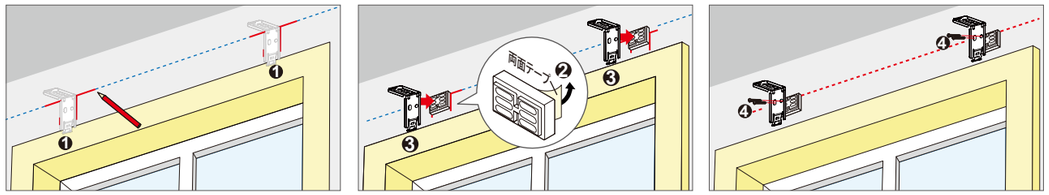
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約 76mm 内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、付属のネジでしっかりと固定してください。(下図参照)
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。※
- ブラケットの下部から窓枠まで（右図参照）8mm以上の距離を空けます。



【窓枠正面付け】（窓枠の正面に取り付け）



【壁面付け】（窓枠上の壁面に取り付け）

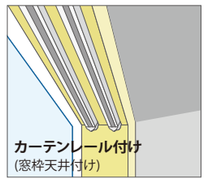


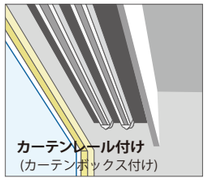
- ブラケットスペーサーを使用するときは、まず取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。
  次に、ブラケットを左右平行（水平）に採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。

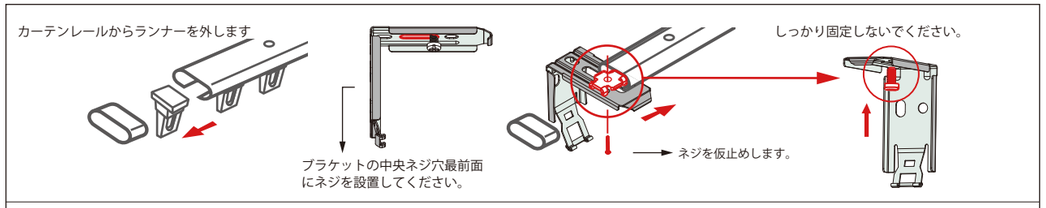
カーテンレール付けの場合

（窓枠内/カーテンボックス内）

※製品幅が1067mm～1600mmのとき、別項「ブラケット設置位置の注意」も併せてご参照ください。



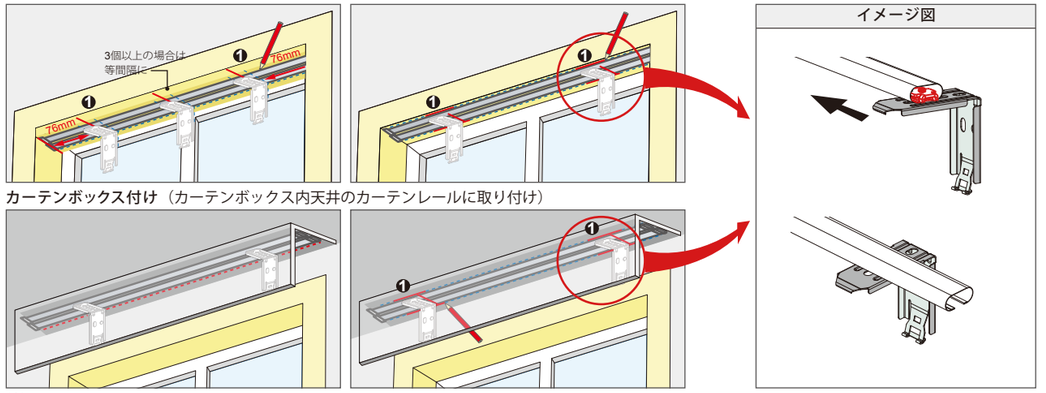




ブラケットとH型金具を合わせ、ネジで仮止めします。(この時点では仮止めにしてください。)
H型金具とブラケットをカーテンレールの端からスライドさせます。

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。
  ヘッドレールの両端部から約76mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。

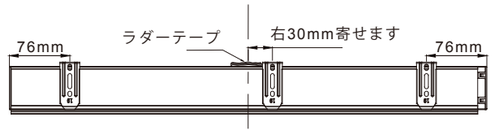
窓枠天井付け（窓枠内天井のカーテンレールに取り付け）



カーテンボックス付け（カーテンボックス内天井のカーテンレールに取り付け）

※ シェードを取り付ける前に、再度ボルト位置をご確認ください。ブラケットネジ穴中央最前面にボルトが設置されている必要があります。

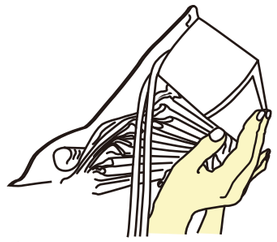
ブラケット設置位置の注意 ▶



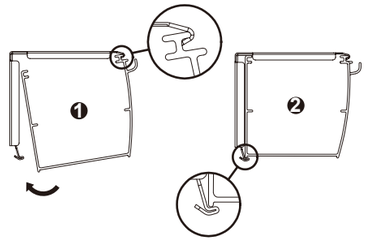
※製品幅が1067mm~1600mmの場合、
ラダーテープが干渉しないよう中間のブラケットを30mm右側に設置してください。（全ての取り付けタイプに適用します。）

Step2 シェード本体を取り付けます

1. 左図参考に、ヘッドレールを正しく持ちます
   納品状態の製品ヘッドレール部分を支えます。
   ※シェード部分を手前に抱える形で持つと安定します



2. ヘッドレールを取り付けます
   ヘッドレール前面の溝をブラケット手前のツメに掛け、
   左図のようにヘッドレールを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。

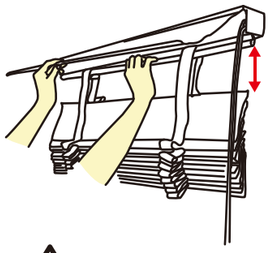


ご注意ください

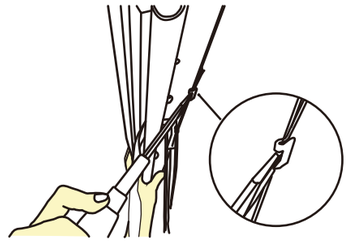
製品本体を取り付けるときは、本体がブラケットにしっかり固定されていることを
必ず確認してください。取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガをしたり物が破損したりする原因となるおそれがあります。
商品の幅が短い場合、取り付け時にヘッドレールがしなり難い状況もあります。その場合は強めに押し込んでください。ハンマーなどでブラケットを叩かないでください。ブラケットが変形し、取り付けが困難になる可能性があります。

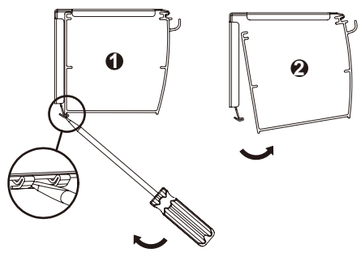
シェード本体の取り外し方 ▶

1. 一枚目の固定シェードを手で巻き、
   ヘッドレール下にスペースを確保します。



2. ヘッドレール下部にブラケットのツメが確認できます。
   こちらのツメにマイナスドライバーを差し込み、
   下図の要領でブラケットからヘッドレールを取り外します。



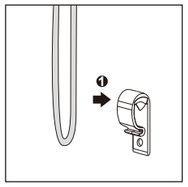


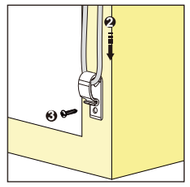
ご注意ください

ブラケットからシェード本体を取り外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

Step3 コードフックの取り付け

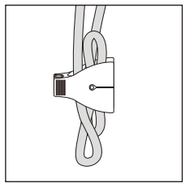
- ■ コードフックの隙間からループコードを通します。
- ■ ループコードが降りきっている状態でコードフックを固定します。
- ■ 取り付けには付属のコードフックネジを使用してください。
  ※ コードフックネジは木部用です。

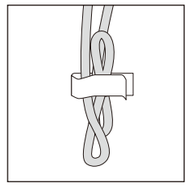




【 その他の取り付け方法 】

コードフックを取り付けるスペースがない場合、または取り付ける下地が木材ではない場合は、図のようにクリップのようなものでコードを固定することをおすすめします。





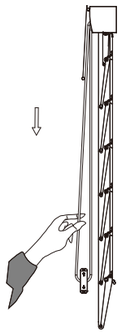
ご注意ください

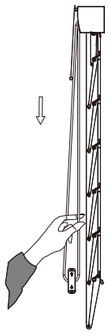
お子様をコード等で遊ばせないでください。
コード等が首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。
操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ねて、コードをフックに固定してください。

操作方法

1 . 操作コードの説明

手前のコードを引く：
シェード全体の上昇と
各シェードを巻く（開ける）
操作ができます

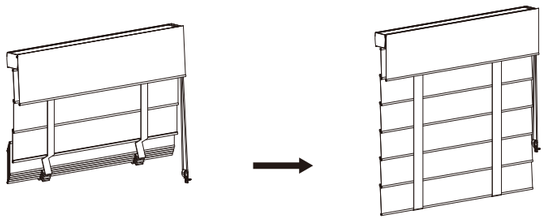




奥側のコードを引く：
シェード全体の降下と
各シェードを拡げる（閉める）
操作ができます。

2 . シェードを降ろす

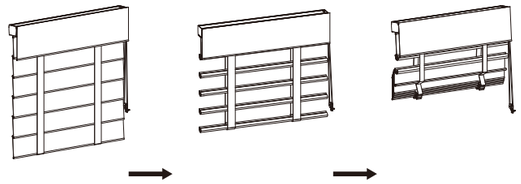
図 1	図 2　シェードを降ろす
シェードが 上がった状態	奥側のコードを40~60cmほど引くと、ロックが解除され、スクリーンが自動降下します。 各スクリーンは閉じた状態で降下します。降下中に手前のコードを引くと降下が止まります。



3 . シェードを上げる

図 3　シェードを上げる

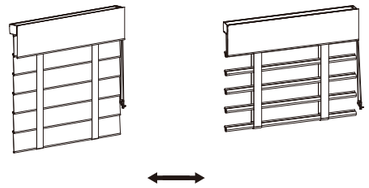
シェードが降りきった状態では、各シェードは閉じた状態です。
手前のコードを引くことで、各シェードが開き始め、完全に開いた後でスクリーンが上がります。



4 . シェード生地の回転

図 4

手前のコードを引くとシェードが巻かれます。
奥側のコードを引くとシェードが閉じます。



5. 降下時の安全停止装置について

- ■ 降下中のボトムレールに障害物が触れると、安全停止装置が作動し降下が止まります。
- ■ 安全停止装置が作動すると、奥側のコードがロックされます。

ⓘ 安全停止装置解除の手順

1. 障害物を移動し、昇降スペースを確保します。
2. 手前のコードを引き、シェードを 1 段以上上昇させると安全停止機能が解除されます。 ロックされた奥側のコードを操作しないでください
3. 手順2の後、奥側のコードを引いて再度シェードを降下させてください。

サイズ定義と公差

幅				
取り付けタイプ	オーダー幅	仕上がり幅	測り方	公 差
窓枠天井付け・浅天井付け・鴨居付け・カーテンレール付け(窓枠天井付け)	X	X - 6mm	ヘッドレールの左端から右端まで	± 5mm
窓枠正面付け	X	X		
壁面付け	X	X		
カーテンボックス付け・カーテンレール付け（カーテンボックス付け）	X	X		
高 さ				
取り付けタイプ	オーダー幅	仕上がり幅	測り方	公 差
窓枠天井付け・浅天井付け・鴨居付け・カーテンレール付け(窓枠天井付け)	Y	Y	シェードが閉じた状態で、 ヘッドレールの上から下まで。	0 ～ + 13mm
窓枠正面付け	Y	Y		
壁面付け	Y	Y		
カーテンボックス付け・カーテンレール付け（カーテンボックス付け）	Y	Y		